



- 研究テーマ 情動知能の測定と育成に関する研究
- 所属職名氏名 学校教育講座 教授 豊田弘司
- 研究シーズ概要

Goleman (1995)による「こころの知能指数」の提唱から、自分の情動をコントロールする力や他人の情動を認知する(「空気を読む」)力が重視されている。情動知能(Emotional Intelligence; EI)とは、自分の情動を表現する能力(EL)、他者の情動を認識する能力(PU)、及び自分の情動を制御する能力(MR)から構成される。元々、産業界においてリーダーシップを規定する要因としてEIは注目されたが、EIは何によって規定されるのかという課題は、いまだ解決途上にある。本研究では、児童から成人までのEI尺度を開発した。また、随伴経験、共感経験等の経験要因と、内的他者意識という本人がもつ態度がEIを規定する要因である可能性を明らかにした。また、居場所(「安心できる人」)がEIと関連している可能性も発見した。これらの結果は、社会における指導者育成、教育における児童・生徒の指導に対して注目すべき結果である。社会におけるストレスによる精神的疾患及び教育における不登校、学校不適應の問題に新たな視点で貢献することが期待できる。